

【災害用LPガス発電機】 介護施設に設置しました。

小規模介護施設に発電機

西区・脳リハビリネット



脳リハビリネットワークが運営施設のすぐ横に新設した非常用LPガス発電機＝浜松市西区志都呂

浜松市西区志都呂の高齢者施設運営会社「脳リハビリネットワーク」はこのほど、同所の有料老人ホームとグループホーム用に非常用LPガス発電機を新設した。台風などで両施設が停電した際に最低1週間は給水できるように、入所者の生活環境維持を図る。

停電時、給水可能に

同社によると、小規模の同施設での非常用発電機の導入は珍しいという。2018年秋の台風での停電を教訓に、事業継続計画（BCP）の一環で導入した。静音性が高く、燃料が劣化しないLPガスを選び、LP販売のエネジン（中区）が施工などを担った。停電時に自動稼働して貯水槽からポンプでくみ上げ、2～4階の入所者約30人らに届ける。3階共用部の照明とコンセントも使え、衛生問題の解決や避難場所確保につなげる。

（浜松総局・荻島浩太）

浜松市西区の脳リハビリネットワーク様の老人グループホームにて、災害時用LPガス発電機の設置をさせていただきました。
災害時、介護施設では衛生問題や避難場所の確保が重要な課題となってきます。
今回導入した発電機では、電力の供給はもちろん、貯水槽から水をくみ上げることもでき入所者の生活環境維持を図ることが出来ます。
エネジン株式会社では商材や企画を通して、いざという時お客様を守る体制を作るお手伝い出来るよう日々の業務に取り組んでいきます。

令和3年(2021年)5月14日(金)

静岡新聞掲載